

# RESAS とローカルデータを活用した観光促進の取組

北九州市／北九州まちづくり応援団(株) (小倉城庭園指定管理者)

## 地域資源に着目し、誘客強化のためのデータ分析・効果検証を実施

小倉城・小倉駅周辺地域の滞在人口を RESAS データやローカルデータを用いて分析。毎年行われている地域の伝統儀式を観光誘客の素材として PR する施策を、市と観光施設の管理者が一体となって検討・実施し、来訪者取り込み強化を図っている。

観光に力を入れる北九州市観光課奥係長、麻生主査、井本主査と小倉城庭園指定管理者である北九州市まちづくり応援団(株)の吉柳館長補佐に話を聞いた。

データに基づき関係者が一体となって施策を検討／

地域に根付く儀式・イベントを観光誘客の素材として明確に位置づけ・PR

---取組の目的や背景について、想いやそこに至る経緯などをお聞かせください

(北九州市観光課)

北九州市は近年世界遺産の登録をはじめ年々観光客数を増やしつつありますが、観光地としての認知度はまだまだ高いとはいえません。小倉城や門司港レトロ口など、市を代表する地域資源を磨き、観光地としての発信を強化していく必要があります。

北九州市でも観光動態調査を毎年実施していますが、これらのデータや RESAS データを活用し、データに基づく戦略的な施策立案ができるようになればと考えていました。

---今回は市の観光名所、小倉城庭園周辺を対象に誘客強化に取り組まれています。この取組について、詳しい実行内容や実行手順、特に重視されたポイントなどお聞かせください。

(北九州まちづくり応援団(株))

小倉城は特に近年韓国、中国の団体ツアーのお客様が急増しており、来訪客の立ち寄りスポットになっております。一方、隣接している小倉城庭園にまで立ち寄ってもらえないケースも多くあります。また、庭園の近くにはリバーウォークという複合型商業施設もありますが、この周辺一体でのトータルでの滞在時間増につなげられないかと考えました。

そこで、RESASの滞在人口のデータや施設入場者数のデータを用いて分析を行い、特に滞在人口が減少する2月の昼の時間帯において、小倉城庭園で毎年催されている「加冠の儀」「三々九手挟式」という伝統儀式を活用し、小倉城周辺や小倉駅でのPR、小倉城庭園内での儀式への来訪促進PRを行いました。

また、来訪者に対し、鑑賞後のアンケートを実施し、儀式のどのような点に興味・関心を持ってもらえたのかを把握しました。

元々、小倉城庭園は日本伝統文化の情報発信をする施設であり、体験・学ぶことを重視しています。今回も日本伝統文化に触れてもらうことが誘客につながるのかを検証しました。



#### 効果測定・検証まで実施し、今後の改善策を抽出

---取組で得られた効果や気づき、あるいは反省点等、もしあればお聞かせください。

(北九州まちづくり応援団(株))

「三々九手挟式」は1時間程度の儀式ですが、屋外での実施となるため、今回初めて来訪者数をカウントしました。昨年までの感覚値に比べると2倍~3倍程度の来訪者がいらっしゃいました。アンケートの中から多くの来訪者が「見た目の華やかさ」や「的に弓が当たる期待感」といった点に関心を有していただいたことが分かったことはいい気づきとなりました。リハーサルの時間も見ていただけるようにするなど、来訪者との接点を増やす取組は検討したいですね。

また、小倉城と庭園の認知度の違いも分かり、小倉城と周辺一体で滞在時間の向上につながるものの有効性を確認できました。

(北九州市観光課施設管理担当)

庭園の儀式については、弓手との写真撮影のコーディネートや、小倉城と一体での弓の体験イベントなどまだまだ魅力を感じてもらえる余地があると考えています。小倉城周辺一

体でのさらなる回遊性向上につながる取組を行っていきたいです。

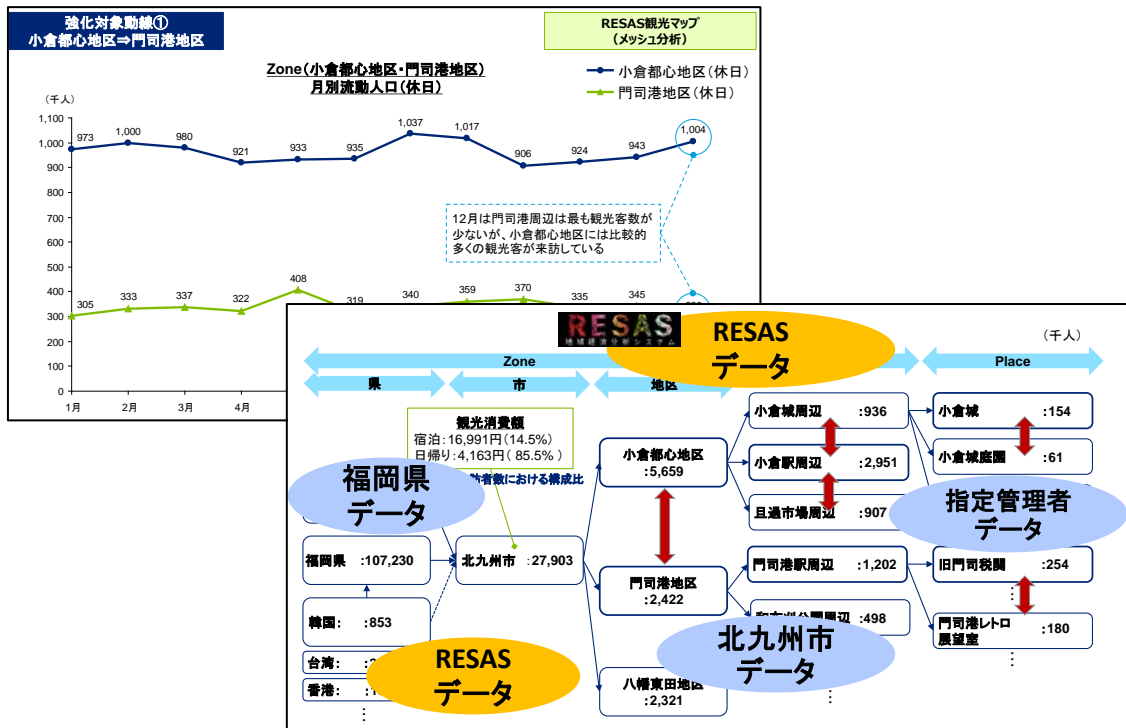
**データを活用した戦略的な観光施策の推進に向けて**

---この取組を活かして、今後次のステップとしてさらに考えておられる事、実施しようとされている事があれば、お聞かせください。

(北九州市観光課)

小倉城や小倉城庭園は市でも重要な観光資源であり、アジアからの来訪者も多くいますが、外国人の個人の旅行者がどのような動きを取っているかまでは追い切れていません。今後、データを活用した戦略的な分析ができれば、地域の観光事業者の皆さんともより効果的な施策検討ができるのではないかと考えています。

【「観光」をテーマとした RESAS 利活用事例～「観光都市」を目指す北九州市の取組より～一部抜粋】



分析内容の詳細は『「観光」をテーマとした RESAS 利活用事例～「観光都市」を目指す北九州市の取組より～』をご覧ください